



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第4号 令和4年4月6日

令和4年度アレルギー対応研修会

4月5日に、アレルギー対応研修会を開催しました。嬉しかったことは、先生方が前向きに研修を自主運営したことです。組織は、単なる集団ではなく、共通目的、貢献意欲、コミュニケーションの3つの要素が欠かせません。その組織を昨日の研修会で感じました。持続可能な学校への始めの一歩です。

研修会では、養護教諭の先生がアレルギーの特性、アナキラフィシーの理解、エピペンの対応について、丁寧にご指導していただきました。給食中に起きた時、運動を介して起きた時、どう対応するか、知識があるのとないのとでは、対応の正確さと時間に大きな差異が生じます。当然、自信にも。知っているということが、どれだけ大事かと思わされました。

また、栄養士の先生からは、給食の配膳等の確認指導があり、除去食給食の渡し方の確認もありました。事件事例もご自身の経験からお話しされ、受講者はよく理解できたと思います。気を付けるべきは、補教時。早速、ある先生が補教シートの改善をしてくれました。講師をしてくださった先生、そして皆さんに感謝です。アレルギー事故を起こさないということは大切ですが、万が一に備えて、正しい知識で、正しく取り組んでいきたいと思いました。



進取の素 学級経営に役立つ格言

4 新聞・ニュースを見ているか 「世の中の動きに鈍感」はいつかつまづく